

20XX
年 度

類似トラフィックを用いた機械学習の初期学習にかかるコスト軽減

吉田
健太

木下
研究室

[修士論文]

類似トラフィックを用いた機械学習の初期学習にかかるコスト軽減

(指 導 教 員) 木下 俊之

コンピュータサイエンス専攻 木下研究室

学籍番号 G2116032

吉田健太

[20XX 年度]

東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科

修士論文

論文題目

類似トラフィックを用いた機械学習の初期学習にかかるコスト軽減

指導教員

木下 俊之	印
-------	---

提出日

2018 年 1 月 23 日

提出者

専 攻	コンピュータサイエンス専攻
学籍番号	G2116032
氏 名	吉田健太

修士論文概要

論文題目	類似トラフィックを用いた機械学習の初期学習にかかるコスト軽減
執筆者	吉田健太
指導教員	木下 俊之 教授

修士論文の概要を記述.

注 1：A4 サイズ、和文は 800 字以内、英文は 500words 程度、横書きで作成

Abstract

Title	Title in English
Author	T a r o K o u k a
Supervisor	Professor D a i j i r o K o u k a
Write an abstract of your Paper.	

注 1 : 英語要旨—300 ワード程度。

目次

1	はじめに	1
1.1	はじめに	1
1.2	論文情報の登録	1
1.3	本テンプレートで用意したコマンド	1
1.3.1	図の例	1
1.3.2	表の例	2
1.3.3	式の例	2
1.3.4	プログラムの例	2
2	例: 関連技術	4
3	例: 提案	5
4	例: 実装	6
5	例: 評価	7
6	例: おわりに	8
	謝辞	9
	参考文献	10
	業績	11
	付録 A ソースコード	12
A.1	CONTENT	12

目 次

1.1 本学園の校章	2
------------------	---

表 目 次

1.1 学部別の人数（2009 年 5 月 1 日現在）	2
--	---

第1章

はじめに

1.1 はじめに

本テンプレートは東京工科大学大学院 [1] のバイオ・情報メディア研究科コンピュータサイエンス専攻の修士論文用に作成されました。以下にテンプレートの使い方を簡単に説明していきます。また、 \TeX 全般に関する使い方は、奥村先生の美文書作成入門 [2] を参考にしてください。

1.2 論文情報の登録

thesis.tex を開くと、ファイル上部に “\title{論文タイトル}” や “\author{工~~科~~太~~郎}” など論文の情報を入力する箇所があります。まずは、これらの情報を自身のものに適宜変更してください。本テンプレートでは入力された情報から “受領書” や “ファイルのカバー”，“内表紙”，“概要”，“英語要旨” を作成しますので、間違えないように気をつけて入力してください。

1.3 本テンプレートで用意したコマンド

本テンプレートでは図や表を参照するためのコマンドを用意しました。

1.3.1 図の例

図の参照には`\figref{}`を用います。このコマンドは、図を参照する際に “図” という文字を自動的に付与します。また、1 回目の参照では太字で表示し、2 回目以降は通常表示します。

例) 本学園の校章を図 1.1 に示す。



図 1.1: 本学園の校章

表 1.1: 学部別の人数 (2009 年 5 月 1 日現在)

学部	男子 (名)	女子 (名)	合計 (名)
メディア学部	1618	553	2151
応用生物学部	1081	417	1498
コンピュータサイエンス学部	2046	146	2192

1.3.2 表の例

表の参照には`\tabref{}`を用います. このコマンドは, 表を参照する際に “表” という文字を自動的に付与します. また, 1 回目の参照では太字で表示し, 2 回目以降は通常表示します.

例) 東京工科大学の学部別の学生数をまとめた表を表 1.1 に示す.

1.3.3 式の例

式の参照には`\eqref{}`を用います. このコマンドは, 式を参照する際に “式” という文字を自動的に付与します. また, 1 回目の参照では太字で表示し, 2 回目以降は通常表示します.

例) オイラーの公式を式 1.1 に示す.

$$e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta \quad (1.1)$$

1.3.4 プログラムの例

プログラムの参照には`\pgref{}`を用います. このコマンドは, プログラムを参照する際に “プログラム” という文字を自動的に付与します. また, 1 回目の参照では太字で表示し, 2 回目以降は通常表示します.

例) プログラムの表示の方法には2種類あります. 1つは, 外部に保存したファイルを読み込んで表示する方法です. もう1つは, 直接プログラムを記述する方法です.

“Hello World” を表示する C のプログラムをプログラム 1.1 に示す.

プログラム 1.1: Hello World

```
1 #include <stdio.h>
2
3 int main(void) {
4     printf("Hello_World\n");
5 }
```

“Hello Java” を表示する Java のプログラムをプログラム 1.2 に示す.

プログラム 1.2: Hello Java

```
1 public class HelloJava {
2     public static void main(String[] args) {
3         System.out.println("Hello_Java");
4     }
5 }
```

第2章

例：関連技術

章立ては指導教員の方針に従ってください。

第3章

例：提案

章立ては指導教員の方針に従ってください。

第4章

例：実装

章立ては指導教員の方針に従ってください.

第5章

例：評価

章立ては指導教員の方針に従ってください.

第6章

例：おわりに

章立ては指導教員の方針に従ってください。

謝辞

本テンプレートは，以前，塙先生や生野先生をはじめとする先生方が作成管理していた東京工科大学の論文用テンプレートを参考させて頂きました．先のテンプレートがなければ，本テンプレートも存在しなかったといっても過言ではありません．この場を借りて感謝の意を表します．また，テンプレートを作成し公開したいという申し出に快く賛成・協力してくださった星先生，大学院課の早川さんにも大変感謝しています．そして，テンプレートを作成に関わったすべての人にも感謝します．本当にありがとうございました．（平成 21 年 G2108021 品田良太 作成）

参考文献

- [1] 東京工科大学ホームページ. <http://www.teu.ac.jp/>.
- [2] 奥村晴彦. [改訂第 4 版] LaTeX2e 美文書作成入門. 技術評論社, 2006.

業績

- [1] 岡田昌浩, 井上亮文, 星徹, “投映面の特性を 3DCG に反映させるシステム SUNDIAL の色認識機能への拡張”, 情報処理学会研究報告, Vol.2015-EC-35, No.16, pp.1-7, 2015.
- [2] 松尾豊, “なぜ私たちはいつも締め切りに追われるのか”, <http://ymatsuo.com/papers/neru.pdf>, 2015 年 6 月閲覧.

付録 A

ソースコード

A.1 CONTENT

リストファイルをプログラム A.1 に示す.

プログラム A.1: CONTENT

```
1  CONTENT: ファイルの説明
2
3  00CONTENT    : このファイル
4  00README     : README
5  00abstract.tex : 概要
6  00eabstract.tex : 英語概要
7  01preface.tex : 第 1 章 はじめに
8  02related.tex : 第 2 章 関連技術
9  03approach.tex : 第 3 章 提案
10 04implement.tex : 第 4 章 実装
11 05assessment.tex : 第 5 章 評価
12 06conclusion.tex : 第 6 章 おわりに
13 07ack.tex     : 謝辞
14 08publications.tex : 業績
15 09appendix.tex : 付録
16 hello.c       : Hello World を表示するプログラムコード
17 jlisting.sty   : listings 環境を使用するためのファイル
18 listings.cfg   : listings 環境を使用するためのファイル
19 listings.sty   : listings 環境を使用するためのファイル
20 lstdoc.sty     : listings 環境を使用するためのファイル
21 lstlang1.sty   : listings 環境を使用するためのファイル
22 lstlang2.sty   : listings 環境を使用するためのファイル
23 lstlang3.sty   : listings 環境を使用するためのファイル
24 lstmics.sty    : listings 環境を使用するためのファイル
25 mybib.bib      : 参考文献 (文献データベース)
26 mylatex.sty    : 自分向けスタイルファイル
27 teulogo_new.eps : 画像の表示に用いたサンプル
28 thesis-master.sty : (大学院CS 専攻用)
29 thesis.pdf     : テンプレートを組み版した PDF ファイル
30 thesis.tex     : 論文のメインファイル
```